

INITIAL CLINICAL TRAINING GUIDE

2023年度 京都大学医学部附属病院
初期臨床研修ガイド



KU: P

京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL
総合臨床教育・研修センター



京大病院 初期臨床研修の目指すもの

- 01 大学病院ならびに協力病院のもつ豊富な学識と経験を最大限に生かした、プライマリーケアの素養の習得
- 02 優秀な指導医のもとで高度先端医療を担うチームの一員として、医療の質と安全を意識しつつ、将来のキャリアパスにつながる研修
- 03 プロフェッショナルとしての高い倫理観に根ざした、社会に貢献できる医師の育成

センター長からのメッセージ



Message from director of the center

総合臨床教育・研修センター長
溝脇 尚志

初期研修中に身につけるべきことは、目の前の患者さんの治療の中で指導医とのディスカッションを通して自ら診療方針を立て、同僚と切磋琢磨し、様々な職種のスタッフと密に協力しながら、一人一人の患者さんの治療に正面から取り組むことで、医療人としての基礎を築くことです。医学生や研修医の教育を長年行ってきた京都大学病院は、多くの熱心な指導医が多方向から後進を育てるという指導スタイルが色濃く存在し、メディカル・スタッフとの連携も年々強化されています。皆さんが医師としてキャリアを始める重要な時期にあたって、安心して研修を受けられる環境が整っています。

また、その後の専門研修に関しても、京大病院と長年深い関わりのある関西を中心とした数多くの研修病院が揃っています。そこでは京大病院の診療や教育を良く知る経験豊富な指導医が、専門研修へのスムーズな移行へと導きます。

病院同士の連携だけでなく、こうした人と人との有機的なつながりは、専門研修から大学院進学、海外留学といった多様なキャリアパスを構築する大きな助けとなることでしょう。出身大学を問わず、自由・平等なアカデミアが伝統である京大病院で研修しませんか。総合臨床教育・研修センターは皆さんの熱意を歓迎し、全力でサポートします。

これまでの研修修了者からのコメント

当初は大学病院で Common Disease を経験できないのではないかと心配していましたが、実際は救急外来で軽症の walk in 患者から蘇生処置を要する重症患者まで幅広く経験させて頂き、プライマリ・ケアにもある程度自信ができました。

京大病院ならではの希少症例、複雑症例およびそれに対する高度先進医療、治験等も見られます。

教育熱心な指導医が沢山いらっしゃるので、各科の勉強会やカンファレンスを参加するたびに、大変勉強になります。

ぜひ京大病院での研修をお勧め致します。

Aプログラム修了者

この2年間の研修はとても充実した研修でした。

1年目は京大病院で2年目は京都医療センターで研修しましたが、とてもバランスの良い研修でした。1年目の京大病院でカルテやサマリーの書き方や医師としての基本を学び、2年目の京都医療センターでは救急を中心に実践を学ぶことができました。

また京大病院では志の高い同期に恵まれ、今後の自分の進路を考える上でかなり刺激を受けました。今後もこの経験を活かしていきたいです。

Bプログラム修了者

大学病院であるため、上級医や研修医の数も多いのですが、京大病院では特に各地から人が集まっており、またさまざまな背景がある方や、興味深いキャリアプランを描いている方がおり、大変多くの刺激を受けることができました。

小児科重点プログラム修了者

協力病院では救急外来などで common disease を、京大病院では入院病棟で専門性の高い治療を扱う症例を多く経験させていただきました。

同期の研修医とお互いに切磋琢磨しながら自分のスキルを磨いていく研修生活は大変充実していました。

2年間で指導いただきありがとうございます。

Cプログラム修了者

2年間京大病院でお世話になりました。京大出身ではないこともあり最初は不安の中で始まった研修でしたが、毎日充実したものとなり、あっという間に過ぎていきました。各科のプロフェッショナルがそろい、とても優しく熱心に指導して下さる先生方の存在は、京大病院で研修する一番のメリットだと思います。また全国から集まった優秀な同期と切磋琢磨する環境にも恵まれました。2年間で学んだことを糧にこれからの医師生活を歩んでいきたいと思っています。

特別プログラム修了者

研修責任者からのメッセージ



総合臨床教育・研修センター
研修管理委員長／医師臨床教育・研修部長

片岡 仁美

初期研修の2年間は、学生から医師になる大きな節目であり、この2年間どのような成長曲線を描くかによって、その後の医師人生を左右するほど大切な時期です。そして、この2年間は多くの出会いと学びにふれ、心を動かされ、人としても大きく成長する時期でもあります。

京都大学病院研修プログラムは、この大切な2年間に充実したものにすろりソーズが詰まっています。優れた指導者や研究者が身近に豊富であり、素晴らしい出会いに満ちています。そして、大学と様々な地域の研修病院や地域医療研修先と連携した多種多様な研修の機会を提供しています。

プログラムに集う研修医の皆さんは多彩です。約半数の本学卒業生と、様々な地域から本プログラムを目指して参加された皆さんがともに学びあう環境です。

卒前の医学部教育や卒後の専門医制度が大きく変化しており、社会情勢も変化が大きいこの頃ですが、大切なことは変わらないはず。それは患者さんのために力になりたいという皆さんの志とそれを可能とする熱意です。私たちは、皆さんの志と熱意を支え、プロフェッショナルとして羽ばたくその第一歩を全力で応援します。

キャリアパスを見据えた 臨床研修プログラム

～思い描くキャリアパスに向かって～

※いずれのプログラムも定員数は前年度実績で本年度は変更の可能性があります。
本年度の採用人数については、別途募集要項をご参照ください。

Aプログラム (28名)

1年目52w					2年目52w				
内科	外科	一般 外来	救急	麻酔	地域	産婦人科	小児	精神	選択
6ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	8ヶ月

※麻酔1ヶ月は救急部門とする。

2年目は原則8ヶ月の選択期間が設けられている

Bプログラム (7名)

1年目52w					2年目52w				
内科	外科	一般 外来	救急	麻酔	地域	産婦人科	小児	精神	選択
6ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	8ヶ月

※麻酔1ヶ月は救急部門とする。

Cプログラム (22名)

1年目52w					2年目52w				
内科	外科	一般 外来	救急	麻酔	地域	産婦人科	小児	精神	選択
6ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	8ヶ月

※1年目は各病院のプログラムに準じて行う。

※1年目必修科目の研修を修了していない場合は、2年次に当院にて当該研修を行う。

Bプログラムの1年次、Cプログラムの2年次におけるたすきがけ研修ではCommon diseaseや救急医療、地域における病院の役割を経験できる。

産婦人科重点プログラム (3名)

1年目52w					2年目52w				
内科	産婦人科	一般 外来	救急	麻酔	地域	外科	小児	精神	産婦人科関連選択
6ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	8ヶ月

※麻酔1ヶ月(4w)は、救急部門とする。
※2年次で必須研修科である外科を1カ月研修

1年次に産婦人科を2ヶ月研修できる

小児科重点プログラム (3名)

1年目52w					2年目52w				
内科	小児	一般 外来	救急	麻酔	地域	外科	産婦人科	精神	小児科関連選択
6ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	8ヶ月

※麻酔1ヶ月は、救急部門とする。
※一般外来は小児科で行う。
※2年次で必須研修科である外科を1カ月研修

1年次に小児科・NICUを2ヶ月研修できる

特別プログラム (12名)

1年目52w					2年目52w				
内科	自由選択 (1診療科)	一般 外来	救急	麻酔	地域	必修科目(4診療科)			選択
6ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	7ヶ月

※2年次の必修科目(4診療科)は、1年次に選択していない外科・産婦人科・小児・精神とする。

1年次に2カ月、自由に診療科の選択が可能
*1年次に必須研修科(外科、産科婦人科、小児、精神)を自由選択で研修した場合は、選択科研修が8カ月となる

基礎研究医プログラム (1-2名)

こちらのプログラムはマッチング外で採用を行うため、研究期間に所属を希望する基礎医学系の研究室を通して下記までお問い合わせください。
お問い合わせ先：医学教育・国際化推進センター 060edu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

■選択できる診療科

内科研修 3診療科×2ヶ月 または 2診療科×3ヶ月		外科研修 1診療科	2年次に選択可能な診療科		
呼吸器内科	血液内科	消化管外科	眼科	皮膚科	泌尿器科
循環器内科	糖尿病・内分泌・栄養内科	肝胆膵・移植外科	脳神経外科	乳癌外科	小児外科
腎臓内科	消化器内科	心臓血管外科	NICU (新生児集中治療部)	ICU (集中治療部)	病理診断科
免疫・膠原病内科	脳神経内科	呼吸器外科	形成外科	検査部・ 感染制御部	緩和 医療科
					耳鼻咽喉科
					放射線治療科
					放射線診断科
					腫瘍内科

多彩な 協力病院・協力施設

都道府県	協力型臨床研修病院 (Bプログラム、Cプログラム)
静岡県	01 静岡県立総合病院
	02 静岡市立静岡病院
	03 市立島田市民病院
福井県	04 福井赤十字病院
滋賀県	05 彦根市立病院
	06 大津赤十字病院
	07 大津市民病院
	08 滋賀県立総合病院
	09 市立長浜病院
京都府	10 京都医療センター
	11 三菱京都病院
	12 京都桂病院
	13 京都岡本記念病院
	14 宇治徳洲会病院
	15 済生会茨木病院
	16 枚方公済病院
	17 北野病院
大阪府	18 大阪赤十字病院
	19 関西電力病院
	20 済生会野江病院
	21 市立岸和田市民病院
奈良県	22 大和高田市立病院
和歌山県	23 日赤和歌山医療センター
兵庫県	24 公立豊岡病院
	25 赤穂市民病院
島根県	26 国立姫路医療センター
	27 松江市立病院
香川県	28 高松赤十字病院

研修医の声
救急当直は非常に忙しく実力がつきました

研修医の声
診療科の垣根が低く1年間でどの病棟も顔見知りになりました

研修医の声
市中病院ならではの良さがありcommon diseaseをしっかりと見られる病院で、臨床経験を積むには研修医にとってとてもよい病院であると思います。医師も多く、医局が全員一緒なので、すぐに相談できたり、上の先生とも仲良くなりやすかったです。エコーや手技の練習をさせてくれるので、とても実践的でした。一年間充実した年になりました。

都道府県	地域医療研修協力施設
岩手県	01 奥州市国民健康保険まごころ病院
宮城県	02 気仙沼市立本吉病院
福井県	03 若狭高浜病院
	04 丹後中央病院
京都府	05 京都民医連あすかい病院
	06 京都通信病院
	07 愛寿会同仁病院
	08 十条リハビリテーション病院
大阪府	09 朋友会泌尿器科上田クリニック
	10 淀さんせん会金井病院
奈良県	11 清仁会水無瀬病院
奈良県	12 大和郡山病院

研修医の声
往診や訪問看護に同行して実際の活動を見ることができました

研修医の声
医療はその土地、人々に併せて柔軟に変化し一元的なものではないとわかりました

研修医の声
診療所から病院までの流れを経験することができました

研修医の声
介護老人保健施設や訪問看護ステーションと密接に連携していました



都道府県	精神科研修協力病院
大阪府	01 医療法人光愛会 光愛病院
	02 藍野花園病院
滋賀県	03 医療法人藤樹会 滋賀里病院
	04 医療法人明和会 琵琶湖病院

当院の精神科研修では、院内の精神科神経科の他に地域の精神医療を担う病院とも研修の連携をしています。

充実した教育体制

—学びをサポート—

京大病院Grand Round

毎月1回 ランチャタイムに、研修医による症例発表と指導医によるミニレクチャーを診療科が持ち回りで行っています(2021年よりWeb開催)。

症例提示における最新の治療についてのレポートや、日々の診療に役立つtipsの講義などを聞くことができます。(院内動画アーカイブから繰り返し視聴可能)



Facebookで開催されたGrand Roundについてレポートしています。

各診療科による勉強会

各診療科から研修医や専攻医を対象に、モーニングレクチャー・イブニングセミナーがシリーズで展開されています。



2020年度よりいずれもWeb開催

シミュレーショントレーニング

大学の豊富なシミュレータを用いて研修をサポート



採血トレーニング

感染制御部の医師や採血のプロである看護師から指導を受けます。



気管内挿管トレーニング

基本的な気道確保が出来れば安心!



豚皮を用いた縫合トレーニング

形成外科医がわかりやすく指導します。

研修環境



研修医室には デスク、共用パソコン、プリンターを完備。休憩スペースも設けています。

全員が1つの研修医室にデスクを置くため、コミュニケーションが活発です。

医学図書館のオンラインジャーナルが利用できるため、豊富な文献に容易にアクセスできます。

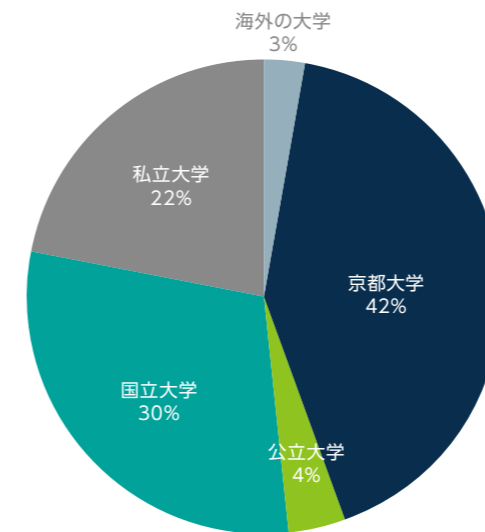
相談できるメンターシップ制度があり、キャリアや臨床など様々な不安に応える指導医がいます。

研修センターでも、いつでも相談にのることができる体制をとっています。

キャリアをデザインする

様々な大学からあつまる仲間

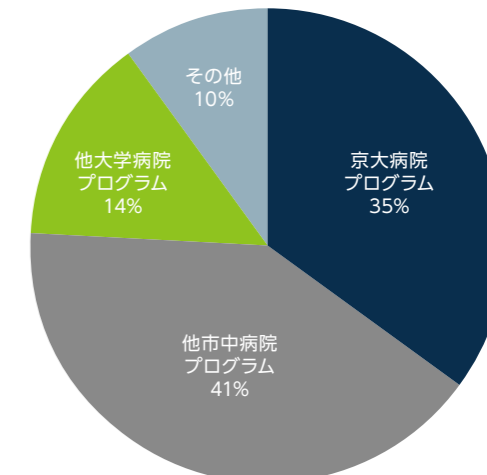
臨床、研究さまざまな分野で活躍する指導医たちにふれることができる京大病院へ全国から研修医が集まっています。



研修医出身大学 (2023年度採用)

専門研修プログラムへの移行

内科領域、外科領域の専門医プログラムに加え、14の専門医プログラムがあります。2年の研修を通じて、京大プログラムやその関連病院プログラムに多くが進んでいます。



研修医進路 (2022年度修了)

総合臨床教育・研修センターがサポートします

医師のスタートを臨床の指導からキャリアの相談まで、幅広くサポートしています。先進的・高度な医療が展開される臨床だけではなく、世界と競り合える研究機関を要する京大病院へぜひ!



笠原 桂子 | 特定病院助教 |

センター教員からのメッセージ

研修センターと消化管外科に所属しています。研修で悩んだり、将来のことで迷ったり、人と話すことで気持ちになることもあります。自分で気づけなかった解決方法が見つかることもあります。充実した研修生活となるようにサポートしますので、気軽に相談ください。



植野 司 | 特定病院助教 |

センター教員からのメッセージ

研修医の時に会った指導医に受けた影響は今もなお続いています。ぜひ、京大病院の様々なキャリアをもつ魅力的な指導医に学びに来てください!



染谷 真紀 | 助教 |

センター教員からのメッセージ

医学教育・シミュレーション教育で皆さんと共に学んでいきたいと思っています。小児救急・集中治療、VR教育などに関心を持っています。お気軽にお声がけください。



KU: P

京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL



2023年度 京都大学医学部附属病院 初期臨床研修ガイド

編集・発行：京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54
TEL: 075-751-4839(直通) FAX: 075-751-3091
E-mail: sotsugo_kyt@kuhp.kyoto-u.ac.jp
URL: <https://icec.kuhp.kyoto-u.ac.jp>



◀ HP



◀ Facebook

2023年5月発行